

妙国寺、宝珠院、さかい利晶の杜、住吉大社 見学

今まで第1班の課外活動は京都方面ばかりだったので、昨年11月に学習した「堺事件」について理解を深めるために、授業終了後に堺市の「妙国寺」に出かけました。

JR 茨木駅に移動し大阪駅を經由して天王寺で下車しました（470円）。午後1時15分に着きました。あべのキューズモールの3Fのフードコートでランチ。平日なので皆さん固まって食事できました。本日はバレンタインデーだったので、チョコレートの買い物をするメンバーもおられました。



天王寺からは、大阪市で唯一の路面電車である「阪堺電車」に乗りました。「てくてく切符」（600円）を買いました。1回の乗車料金は230円ですので、3回以上乗るならこちらがお得です。



「天王寺駅前」から「浜寺駅前」行きに乗って約30分。「妙国寺前」で下車しました。



妙国寺をバックに集合写真

「妙国寺」は入場料 400 円。写真撮影不可です。地元のボランティアの方が説明してくれます。三好四兄弟の一人である三好義賢（実休）が敷地を寄進してできたそうです。庭には立派な蘇鉄（ソテツ）の木がありました。小堀遠州が手掛けた枯山水の庭も見せてもらいました。「本能寺の変」があった時に、徳川家康は妙国寺におられてここから伊賀経由で三河に帰国されたそうです。

「堺事件」についても詳しく解説していただきました。

慶応 4 年（1868 年）2 月、堺で土佐藩士とフランス水兵が衝突。言葉が通じず、いざこざの中で発砲事件となりフランス水兵が殺傷された。死者 11 名と多数の負傷者が出たことにより外交問題に発展、フランス側から賠償金と加担したものの処罰要求が出た。交渉の結果、賠償金支払い 15 万ドルと加担したものの 20 名の切腹を妙国寺境内で行うこととなった。2 月 23 日、双方立会の下に行われたが、余りにも凄惨な光景であったため 11 人の切腹を最後にフランス側から中止の申し入れがあった。残された 9 人は切腹を願い出たが、立会人の一人であった五代友厚が説得して押しとどめたそうです。

解説の後で「宝物資料館」に案内されました。

150 年余の時を刻んだ土佐藩士 20 名の遺髪、辞世の句、使用されたとされる短刀、三宝等の遺品がありました。他にも、加藤清正奉納の宝剣、ルソン壺等、歴史の重みを感じさせる展示でした。

次に、妙国寺の北隣にある「宝珠院」に行きました。ここには切腹した 11 名のお墓があります。宝珠院は幼稚園を運営しており、インターフォンで許可をとってからお参りしました。



土佐藩士 11 名の墓。幼稚園の中にあるので、手前には遊具も見えます

次に阪堺電車で更に南へ向かい、「宿院」で下車。堺に縁のある「千利休」と「与謝野晶子」を訪ねました。



千利休の生誕地。ガイドの説明あり。

与謝野晶子の生誕地。解説を読んでお勉強。

どちらも阪堺電車「宿院」駅から徒歩数分で行けます。

同じく「宿院」駅から徒歩数分で行ける「さかい利晶の杜」（りしょうのもり）に行きました。平成 27 年 3 月の開館。利晶の「利」は「千利休」、利晶の「晶」は「与謝野晶子」を表しています。入場料は 300 円でしたが、ICOCA を見せたら 240 円に割引されました。

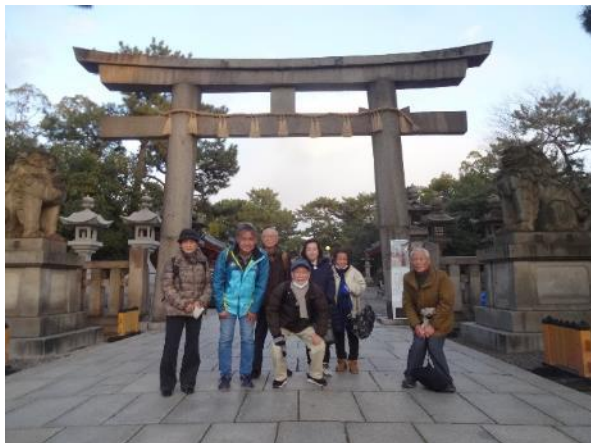


1F は千利休についての展示



2F は与謝野晶子についての展示
与謝野晶子は子供が 12 人もいたそうです

最後は「住吉大社」へ行きました。「宿院」から「天王寺駅前」行きに乗って、「住吉鳥居前」下車。メンバーの中には、住吉は初めての人とか 40 年ぶりの訪問の人とかおられてビックリでした。「太鼓橋」の昇り降りは高齢者には多少きつかったようでした。



鳥居前で集合写真



正式名称は住吉反橋（そりはし）

最後に阪堺電車で「住吉鳥居前」から「天王寺駅前」に移動して、そこで解散しました。

2月21日（火）が最後の授業になります。先生の話はおもしろくためになりました。課外活動で現地を訪れ、見たり聞いたりすることで学んだことが補強されたと思います。

以上